

令和8(2026)年度

徳島大学大学院医科栄養学研究科（博士後期課程）

第2次学生募集要項

（がん専門栄養士養成コースの募集を含む）

（一般・社会人・私費外国人留学生）

徳 島 大 学

(注) 徳島大学大学院医科栄養学研究科
博士前期課程から引き続き学内進学する者
は、留学生も含めて「進学者選考要項」で
出願すること。

～ 入学者選抜の対応について ～

本入試に関する最新情報は、徳島大学医学部ホームページ（下記URL）を
御確認ください。

https://www.tokushima-u.ac.jp/med/admission/graduate_school/

令和8(2026)年度 徳島大学大学院医科栄養学研究科(博士後期課程) 第2次学生募集要項

◆徳島大学大学院のアドミッション・ポリシー

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

●博士後期課程及び博士課程

- ・広い視野と高度な専門知識・技能を身につけ、自立して研究を遂行し後進を指導する能力、又は当該専門的な職業を牽引できる卓越した能力を修得しようとする人
- ・高い倫理観と強固な責任感、独自の発想力や豊かな創造力、広範な応用力、深い洞察力をもって、地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
- ・高度な国際的視野を有し、世界をリードする研究成果を発信し、高度専門分野を牽引しようとする人

◆医科栄養学研究科博士後期課程のアドミッション・ポリシー

医科栄養学研究科博士後期課程では、学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、生命科学および医学に基づいた栄養学のより高度な専門知識をもち、日本国内にとどまらず世界において、人々の健康の保持・増進に寄与することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ・これまでに習得した高度な専門知識や技術を臨床の場で応用・発展させることのできる管理栄養士
- ・国内外の行政機関で、習得した高度な専門知識や技術を生かした栄養施策を企画・立案し、社会福祉に貢献したい人
- ・栄養生命科学に関する国内外のより専門性の高い研究・教育機関で活躍することをめざす人

◆医科栄養学研究科博士後期課程医科栄養学専攻のアドミッション・ポリシー

医科栄養学専攻では、生命科学および医学に基づいた栄養学のより高度な専門知識をもち、日本国内にとどまらず世界において、人々の健康の保持・増進に寄与することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

(知識・技能、関心・意欲)

- ・医学に立脚した高度な専門知識と技術を有し、応用・発展させることのできる管理栄養士をめざすとともに、社会情勢を鑑み将来、栄養生命科学に関する国内外のより専門性の高い研究・教育機関等で活躍し、社会に貢献することをめざす人

(思考力・判断力・表現力等の能力)

- ・幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・技能をもとに思考を深めて適切に判断かつ表現し伝えることができる人

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- ・今までに培った自分の意思や判断力を駆使し、問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれること無く、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力出来る人

●入学者選抜の基本方針

一般入試

- ・個別学力試験では、主として栄養生命科学分野に関する語学力を含めた知識・技能を評価します。
- ・面接は、プレゼンテーション、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

特別入試(社会人)

- ・個別学力試験では、主として栄養生命科学分野に関する語学力を含めた知識・技能を評価

- します。
- ・面接は、プレゼンテーション、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力
 - ・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。その他に、社会人大学院生としての志望動機、就学環境、大学院修了後のビジョンについても評価します。
- 私費外国人留学生
- ・指導教員の推薦書では、主として栄養生命科学分野に関するこれまでの学習状況、専門的な知識・技能の修得状況、学習・研究意欲について評価します。
 - ・口頭試問では、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。その他に、日本語運用能力についても評価します。

I 募集人員

専攻名	定員	今回募集人員
医科栄養学	9人	5人

上記の募集人員には、「がん専門栄養士養成コース」若干名を含みます。

II 出願資格

入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者としします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び令和8(2026)年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年）文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 学校教育法施行規則第156条第6号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8(2026)年3月31日までに24歳に達した者（注を参照）

注1) 出願資格(8)の認定について

- ① 「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」とは、次のア又はイに該当し、かつ、ウの要件を充たす者であること。又はエに該当する者であること。
 - ア 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された後、栄養学関係の分野で4年以上の業務経験があること。
 - イ 大学を中途退学した者（2年以上在学した者に限る。）並びに短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業者その他の教育施設の修了者等で、中途退学又は卒業等をした後、栄養学の関係分野で6年以上の業務経験があること。
 - ウ 著書、学術論文、学術講演及び学術報告等において修士の学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること。
 - エ 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（医学、歯学又は獣医学を履修した者に限る。）
- ② 該当する志願者は、事前審査が必要となりますので、「最終学歴の卒業等証明書」、「入学試験出願資格認定審査調書（本研究科所定の用紙）」及び「研究業績調書（本学所定の用紙）」に論文の別刷等を添付し、令和7(2025)年10月10日(金)までに蔵本事務部医学部学務課第一教務係(大学院業務担当)に提出してください。

なお、ア、イに該当する志願者は、それぞれ4年以上又は6年以上の「業務経験を証明する書類（企業等の人事課長、社長等の証明するもので様式は随意）」を併せて提出してください。

注2) 社会人入試

(1)～(8)のいずれかに該当し、病院、学校、行政機関、企業及び教育研究機関等に職員として勤務しており、入学後もその身分を有するか、又は入学後に身分を有し、勤務(予定)先の所属長の受験許可を得た者とします。

注3) 私費外国人留学生入試

(1)～(8)のいずれかに該当し、日本語又は英語が理解できる者とします。

III 出願期間と受付場所

- 1 出願期間 令和7(2025)年11月10日(月)から令和7(2025)年11月14日(金)まで
受付時間は、毎日午前9時から午後5時まで。
郵送、持参とも11月14日(金)午後5時までに必着のこと。
- 2 受付場所 〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18番地の15
徳島大学蔵本事務部医学部学務課第一教務係(大学院業務担当)
(電話(088)633-9649)

注1) 応募に際しては、あらかじめ志望専攻指導教授に照会のうえ出願してください。

注2) 安全保障輸出管理について

徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/>

IV 出願手続

1 提出書類等

入 学 願 書	所定の用紙に必要事項を記入したもの(最近撮影した正面、脱帽、上半身縦5cm、横4cmの写真を貼ること。)
受 験 票	最近撮影した正面、脱帽、上半身縦5cm、横4cmの写真を貼ること。
修 士 論 文 等	修士論文又はそれに相当する研究成果の要旨(2,000字程度)
成 績 証 明 書	出身研究科等の長が作成した成績証明書
修了証明書等	ア 博士前期課程(修士課程)の修了(見込み)証明書 イ 学位(修士)授与証明書(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から修士学位を授与されたもの)
検 定 料	日本国内に居住する者は本要項に添付の払込用紙に検定料30,000円を添えて、最寄りのゆうちょ銀行及び郵便局窓口で払い込んでください。郵便局の領収の押印を得て、「検定料払込証明書(出願用)」を添付の台紙に貼って出願手続書類と一緒に提出してください。 日本国外に居住する者は、徳島大学ホームページ内の「留学生ポータル」 https://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/ からインターネット出願をすることにより、クレジットカードで検定料を支払うことができます。ただし、本学大学院博士前期課程または修士課程を修了し、引き続き進学する者及び国費外国人留学生は不要。

受験許可書	現在大学院に在学中の者及び官公庁、会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書(様式随意) 社会人入試で受験する者は、所定の様式による。
外国人住民登録証明書等	本邦に在留する外国人は、住民登録証明書及び研究指導教員等の推薦書を添付すること。
返信用封筒	110円切手を貼り、自己の住所氏名を明記したもの(願書を直接持参する場合は除く。)
あて名票	合格通知書等送付用で受験者の郵便番号、住所、氏名を明記したもの。

2 手続

- (1) 入学志願者は、出願手続に必要な書類をそろえ、出願期間内に必着するように提出してください。
- (2) 上記出願書類を郵送する場合は「書留」とし、封筒に「大学院医科栄養学研究科博士後期課程入学願書在中」と朱書きするとともに、一般、社会人、私費外国人留学生の別も明記してください。

V 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、口頭試問、出身研究科等の長から提出された成績証明書等を総合して判定します。

1 学力検査等

- (1) 日 時・学力検査科目等
(一般入試・社会人入試)

年月日(曜日)	検査科目	時間
令和7(2025)年 12月4日(木)	外国語科目(英語)※注	午前9時から午前11時まで
	口頭試問(研究発表と質疑応答)	午後1時から午後5時まで

※注 外国語科目(英語)の出題範囲は、栄養学・生命科学及び自然科学関連分野とします。

(私費外国人留学生入試)

年月日(曜日)	検査科目	時間
令和7(2025)年 12月4日(木)	指導教員の推薦書	午後1時から午後5時まで
	口頭試問(語学を含む)	

- (2) 場 所 徳島市蔵本町3丁目18番地の15 徳島大学蔵本キャンパス内

- 2 口頭試問 修士論文又はそれに相当する研究成果を中心として約15分以内の口頭発表を行い、それに関連して専門科目に及ぶ試問を行います。

※注 大学院博士後期課程の口頭試問の際の発表スライドについて

- (1) 口頭試問での各自の研究内容の発表は、液晶プロジェクターにより行います。コンピューターは大学で準備します。各自のコンピューターの持込みは認めません。
- (2) 口頭試問で使用のコンピューターは、Windows PC(OS Windows 10)で行いますので、Mac用のPowerpointで作成した人は、Windows PCで表示しても文字化けなど起こらないことをあらかじめ確認し、スライド書類の予備コピーも必ず作成しておいてください。

(3) 午前中の学力試験終了後、各自の研究内容のスライド原稿を保存したUSBディスクまたはCD-R（受験者の氏名と受験番号を記載したもの）を担当者に渡してください。

ア 日 時 令和7(2025)年12月4日(木) 午後1時から
イ 場 所 徳島市蔵本町3丁目18番地の15 徳島大学蔵本キャンパス内

3 成績証明書 出身研究科等の長が作成した証明書を審査し、選抜判定の資料とします。

VI 障がいのある入学志願者について

本研究科に入学を志願する者で、障がいのある者は、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合がありますので令和7(2025)年10月10日(金)までに蔵本事務部医学部学務課第一教務係(大学院業務担当)まで申し出てください。

VII 合格者発表

合格者の発表は、令和7(2025)年12月17日(水)午前10時に医学部掲示場に掲示するとともに、合格者には本人あて文書により通知します。

なお、電話による合否についての照会には応じません。

VIII 入学手続

入学手続期間及び入学手続の詳細については、おって通知します。

IX 入学料・授業料

- 1 入学料 282,000円(予定額)
- 2 授業料 前期分 267,900円(予定額) 年間 535,800円(予定額)
(1) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
(2) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改訂されれば改訂額が適用されます。

X 育英資金

独立行政法人日本学生支援機構より大学院生の若干名に対し、月額80,000円又は122,000円の奨学金貸与の制度があります。

XI その他

- 1 入学願書受付後は、検定料の払い戻しはしません。
- 2 その他の経費(医学部後援会費等)として、入学手続の際に約37,000円が必要です。
- 3 募集要項を郵便で請求するときは、320円切手を貼った自己あて(住所、氏名、郵便番号明記)の返信用封筒(角2封筒33.2cm×24.0cm)を同封の上、本学蔵本事務部医学部学務課第一教務係(大学院業務担当)へ申し込みしてください。(請求の際は「医科栄養学研究科博士後期課程学生募集要項請求」と明記してください。)
- 4 出願手続等についての質問があれば、110円切手を貼った自己あて(住所、氏名、郵便番号明記)の返信用封筒を同封の上、本学蔵本事務部医学部学務課第一教務係(大学院業務担当)へ照会してください。